

報道機関各位

長岡市中心市街地整備室
まちなか政策担当課長



内閣府と東京大学が連携

中心市街地活性化ラボ in 長岡を開催

このたび、内閣府が主催する中心市街地活性化ラボが長岡市で開催されます。

これは、中心市街地活性化施策の深化や各地域のまちづくり関係者のネットワーク形成、相互の研鑽・交流の促進を目的として、中心市街地活性化の取組成果が出ている自治体を舞台に、ラボ長および公募で選考される研究生などが現地で事例研究を行うもので、今回は「イノベーションの創出環境の形成」をテーマに、長岡市中心市街地での事例研究が実施されます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いします。

中心市街地活性化ラボ in 長岡 -イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して-

1 概要（プログラムなどの詳細は、内閣府報道発表資料を参照してください）

- ・実施テーマ まちなかのイノベーション創出環境の形成
- ・開催日程 令和7年10月2日(木)～3日(金)
- ・開催地 米百俵プレイス ミライエ長岡（長岡市大手通2丁目3-10）および長岡市中心市街地
- ・ラボ長 長谷川 大輔氏（東京大学大学院工学系研究科 不動産イノベーション研究センター 特任講師）

2 参加者

- ・研究生 5人（自治体3人、まちづくり会社、タウンマネージャー）
- ・聴講生 5人（自治体、まちづくり会社、タウンマネージャー など）

3 取材について

事前に取材申し込みが必要です。

詳細は、別添の内閣府報道発表資料をご確認ください。

※長岡市は、日本初の「イノベーション地区」のさらなる展開を目指し、内閣府地方創生推進事務局および国立大学法人東京大学連携研究機構不動産イノベーション研究センター（CREI）と研究連携協力に関する協定を締結しています。

問い合わせ：中心市街地整備室 松木
TEL 0258-39-2807

令和 7 年 9 月 29 日
内閣府地方創生推進事務局

中心市街地活性化ラボ in 長岡
-イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して-
を開催します！！
【令和 7 年 10 月 2 日（木）～3 日（金）】

- 中心市街地活性化の重要な取組、イノベーションの創出環境の形成について、長岡市を舞台に、10 月 2 日（木）～3 日（金）「中心市街地活性化ラボ」を開催。
- 研究生等として全国各地のまちづくりプレイヤーが参画。
- 長谷川ラボ長（東京大学大学院工学系研究科 不動産イノベーション研究センター 特任講師）の下、選考された 5 名の研究生が長岡市での学びや各地の事例を発表し、互いに議論。

【開催趣旨】

内閣府は、中心市街地活性化プラットフォーム（別紙参照）における試みとして、「中心市街地活性化ラボ」を開催します。このラボは、中心市街地活性化施策の深化や各地域のまちづくり関係者のネットワーク形成、相互の研鑽・交流の促進を目的に、現地での中心市街地活性化事例研究を行うものです。中心市街地活性化の取組成果が出ている自治体を舞台に、ラボ長及び公募で選考される研究生等が現地で事例研究を実施します。

ラボ長の下、事例研究を行う研究生として、全国各地のまちづくり関係者の方々から御応募いただき、5 名が選考され、聴講生としては 5 名が参加します。

今回は、内閣府「中心市街地活性化評価・推進委員会」が取りまとめた提言における「新たな時代のまちなか再生に必要な重点的な分野」の一つである「イノベーションの創出環境の形成」をテーマとして実施します。この度舞台となる長岡市は、地方創生 2.0 における地方イノベーション創生構想でも新結合が期待され、「日本初のイノベーション地区」として、新たな産業創出の具体化や多様な人の活動の輪の拡大に取り組んでいます。また、内閣府が推進するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に基づき、長岡市を含む新潟県・長野県が連携する「Regional Nexus Hub」が、第 2 期スタートアップ・エコシステム拠点都市に選定されています。長岡市中心市街地での事例研究を通し、全国各地のまちづくり関係者のネットワーク形成、相互の研鑽・交流の促進を図っていきます。

【概 要】

- 実施テーマ：まちなかのイノベーション創出環境の形成
- 開催日程：令和 7 年 10 月 2 日（木）～3 日（金）
- 開催地：米百俵プレイス ミライエ長岡（長岡市大手通 2 丁目 3-10）及び長岡市中心市街地
- ラボ長：長谷川 大輔氏（東京大学大学院工学系研究科 不動産イノベーション研究センター 特任講師）

【研究生及び聴講生の概要】

- 研究生：5 名（自治体 3 名、まちづくり会社、タウンマネージャー）
（関係地域：旭川市（北海道）、八王子市（東京都）、高山市（岐阜県）、豊橋市（愛知県）、宝塚市（兵庫県））
- 研究生のミッション：
研究生のミッションは、長谷川ラボ長の下、長岡市中心市街地において、現地踏査、事例発表、現地の方々との意見交換等を行い、充実したプログラムを作るとともに、終了後には

研究レポートをまとめ、自らのフィールドに成果を還元することになります。

●聴講生：5名（自治体、まちづくり会社、タウンマネージャー等）

（関係する地域：石巻市（宮城県）、豊橋市（愛知県）、越前市及び福井市（福井県）、川西市（兵庫県）、倉敷市（岡山県））

【主なプログラム】

< 1日目 >

13:00	開場・受付開始（米百俵プレイス ミライエ長岡 5F スタジオ AB）
13:30～15:30	開会 主催者挨拶 羽白 淳（内閣府地方創生推進室 次長） 開催地挨拶 高見 真二氏（長岡市副市長） ラボ長挨拶 長谷川 大輔氏（東京大学大学院工学系研究科 不動産イノベーション研究センター 特任講師）
	「まちなかのイノベーション創出環境の形成」 ラボ長と長岡市より、イノベーションに係る取組の発表
15:40～18:00	現地踏査（中心市街地内各地） イノベーションの創出に向けた取組に係る現地を担当者による解説を交えながら見学

< 2日目 >

9:00	開場・受付開始（米百俵プレイス ミライエ長岡 4F ミライエステップ）
9:30	開会
9:40～11:25	事例発表 渡邊 誠介氏（長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 教授）、各研究生より、全国各地の自身のイノベーションに係る取組を紹介し、知見やノウハウを共有
11:35～12:50	パネルディスカッション 初日のプログラムを通じて感じた、開催地事例の先進性や中心市街地活性化施策のより良い活用の仕方等を踏まえて議論の予定
13:00	閉会

【取材の受付について】

一部の行程・プログラムを除き、取材可能です（1日目については、取材対応が不可な場合があります）。

取材を希望される方は、【問合せ先】のメールアドレスに、以下の項目を記載し、締切までに事前に御連絡ください。

●記載項目：所属、代表者氏名、来訪人数、取材日時・取材希望プログラム

●事前受付締切：10月1日（水）12:00

▶ 中心市街地活性化プラットフォームについては、別紙参照

▶HPはこちら

URL：<https://www.chisou.go.jp/tiiki/chukatu/lab/20251002.html>

▶中心市街地活性化ラボのチラシデータ（PDF）のダウンロードはこちら

URL：<https://www.chisou.go.jp/tiiki/chukatu/lab/20251002/flyer.pdf>

【問合せ先】

内閣府地方創生推進事務局

担当：西村、坂本、佐藤（TEL：03-5510-2209）

E-mail：g.chukatsu@cao.go.jp



政策



事例・分析



報道



検索



お問合せ



[地方創生](#) > [中心市街地活性化](#) > [中心市街地活性化ラボin長岡](#)

内閣府×東大CREI共催【10月2日（木）～3日（金）開催】

中心市街地活性化ラボin長岡

『イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して』

研修生募集【8月31日締切】

「中心市街地活性化ラボ」は、中心市街地活性化施策の深化や各地域のステークホルダーのネットワーク形成、相互の研鑽・交流の促進を目的に、現地での中心市街地活性化事例研究を行うものです。中心市街地活性化の取組成果が出ている自治体を開催地とし、ラボ長及び公募した研究生が実施します。

今回は、内閣府「中心市街地活性化評価・推進委員会」が取りまとめた提言における「新たな時代のまちなか再生に必要な重点的な分野」の一つである「イノベーションの創出環境の形成」をテーマに長岡市中心市街地で開催します。



[募集チラシデータ \(PDF/1,719KB\)](#)

[中心市街地活性化評価・推進委員会 \(R5.5-R2.2\)](#)

[今後の中心市街地活性化の重点課題～新たな「まちなか再生」に向けて～ \(概要\) \(PDF形式: 836KB\)](#)

[今後の中心市街地活性化の重点課題～新たな「まちなか再生」に向けて～ \(本文\) \(PDF形式: 979KB\)](#)

【開催概要】

<実施テーマ>

まちなかのイノベーション創出環境の形成

<開催日程>

2025年10月2日(木) ～ 3日(金)

<開催地>

長岡市中心市街地

<研究生の募集人数>

5名程度

※開催地往復交通費・宿泊費支給(内閣府規定準拠)

※参加者は応募書類等により選考いたします

<研究生に期待されるミッション>

研究生のミッションは、長谷川ラボ長の下、長岡市中心市街地において、現地踏査、研究生自身の事例発表、現地の方々との意見交換等を行い、充実したプログラムを作るとともに、終了後には研究レポートをまとめ、自らのフィールドに成果を還元することになります。

<対象者>

タウンマネージャー、商工会議所職員、商店街組合員、まちづくり会社、行政職員等のうち、以下の条件に当てはまる方

- ・実施テーマに関する取組を実施しており、事例発表できること
 - ・全プログラムに参加できること
 - ・開催地や他の研究生の事例等のプログラムの成果を自身の取組へ還元すること
- ※聴講生(事例発表不要、交通費・宿泊費自己負担)も若干名募集

<応募方法>

以下のURLまたは、右記二次元コードより応募フォームへアクセスし、必要事項を記入・提出ください。

(締切：2025年8月31日(日)まで)

URL (応募フォーム)

<https://www.jmar-llg.jp/machisem2507/labo.html>



二次元コード
(応募フォーム)

【ラボ長・発表者略歴】



【ラボ長】長谷川 大輔 氏

2019年3月筑波大学システム情報工学研究科リスク工学専攻博士後期課程修了、博士（工学）。2019年3月より(株)ディー・エヌ・エー、2020年7月より東京大学生産技術研究所を経て、2022年4月より東京大学不動産イノベーション研究センターに着任。都市計画、地域公共交通計画、空間情報科学に関する研究に従事。

国土交通省「都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会」委員。



【発表者】渡邊 誠介 氏

研究分野は、地方都市の都市計画・まちづくり、イノベーションデザイン。東京大学大学院を修了、工学博士。長岡造形大学地域協創センター長、大学院研究科長、学部長を歴任、2013年より現職。また、2015～19年NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会会長、2020～23年NaDeC運営委員長、2022～23年Matching Hub Nagaoka実行委員長、2023～24年Hakko Meeting座長を務める。

【長岡市の取組概要】

長岡市では市内4大学1高専と連携し、中心市街地にヒト・モノ・情報の集積を図り、「イノベーション×中心市街地」による新たな産業創出の具体化、多様な人の活動の輪の拡大に取り組んでいます。

長岡市は地方創生2.0における地方イノベーション創生構想でも、「新結合」が期待される地域とされています。また、内閣府が推進するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に基づいて、長岡市を含む新潟県・長野県が連携する「Regional Nexus Hub」が、第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市に選定されています。

第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市HP

<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/ecosystem/2ndconcept.html>



[上]...新規事業の立ち上げ方を学ぶ事業化プログラム「リーンローンチパッドプログラム」

[中]...イノベーションサロン @NadeC BASE

[下]...シティホールプラザ『アオーレ長岡』

【主なプログラム】

< 1 日目 >

13:30～15:30 「まちなかのイノベーション創出環境の形成」
ラボ長と長岡市による、イノベーションに係る取組の発表。

15:40～18:00 現地踏査

実際のイノベーションの創出に向けた取組に係る現地を担当者による解説を交えながら見学します。

現地踏査終了後 交流会（参加費形式）

< 2 日目 >

9:30～10:00 「長岡市の取り組み」
渡邊誠介氏による事例発表

10:00～11:25 研究生による事例発表 各研究生より、自身のイノベーション創出に係る取組を紹介し、知見やノウハウを共有します（10～15分程度/人）。

11:30～13:00 ディスカッション

初日のプログラムを通じて感じた、開催地事例の先進性や中心市街地活性化施策のより良い活用の仕方等内容について議論します。

※プログラムについては今後変更の可能性があります。

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
内閣府地方創生推進事務局

Copyright © Cabinet Office, Government Of Japan. All Rights Reserved.

[アクセス情報・地図](#)

[組織](#)

[ウェブアクセシビリティ](#)

[プライバシーポリシー](#)

[利用規約](#)

研究生募集!

日本初の
「イノベーション地区」

中心市街地活性化ラボ in 長岡

イノベーションが生まれる「まちなか」を目指して



※写真左から…米百俵プレイスミライエ長岡、ミライエ長岡オープニングイベント、互尊文庫、ものづくりラボ

実施テーマ

まちなかのイノベーション創出環境の形成

開催地

長岡市中心市街地

募集人数

5名程度

※開催地往復交通費・宿泊費支給(内閣府規定準拠)
※参加者は応募書類等により選考いたします

対象者

タウンマネージャー、商工会議所職員、商店街組合員、まちづくり会社、行政職員等のうち、以下の条件に当てはまる方

- 実施テーマに関する取組を実施、又は課題を有しており、事例発表できること
- 全プログラムに参加できること
- 開催地や他の研究生の事例等のプログラムの成果を自身の取組へ還元すること

※聴講生(事例発表不要、交通費・宿泊費自己負担)も若干名募集

応募方法

右記二次元コードより応募フォームへアクセスし、必要事項を記入・提出ください。

締切:2025年8月31日(日)まで



<https://www.jmar-llg.jp/machisem2507/labo.html>

2025年10月2日(木)~3日(金)

ラボ長



長谷川 大輔 氏

東京大学大学院工学系研究科

不動産イノベーション研究センター 特任講師

主なプログラム

1
日
目

13:30~ 開会・挨拶

15:30 「まちなかのイノベーション創出環境の形成」

ラボ長と長岡市より、イノベーションに係る取組の発表

15:40~ 現地踏査

18:00 イノベーションの創出に向けた取組に係る現地を担当者による解説を交えながら見学します。

現地踏査終了後 交流会(参加費形式)

現地泊

2
日
目

9:30~ 開会・挨拶

10:00 「長岡市の取り組み」

渡邊 誠介氏 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 教授

10:00~ 研究生による事例発表

11:25 各研究生より、自身のイノベーション創出に係る取組を発表

11:30~ ディスカッション

13:00 初日のプログラムを通じて感じた、開催地事例の先進性や中心市街地活性化施策のより良い活用の仕方等内容について議論します。

※プログラムについては今後変更の可能性がありますが

地方創生2.0

内閣府地方創生推進事務局



東京大学連携研究機構不動産
イノベーション研究センター

中心市街地活性化ラボ・長岡市の取組

《中心市街地活性化ラボ》

- 「中心市街地活性化ラボ」は、中心市街地活性化施策の深化や各地域のステークホルダーのネットワーク形成、相互の研鑽・交流の促進を目的に、現地での中心市街地活性化事例研究を行うものです。中心市街地活性化の取組成果が出ている自治体を開催地とし、ラボ長及び公募した研究生が実施します。
- 今回は、令和5年度、内閣府「中心市街地活性化評価・推進委員会」が取りまとめた提言における「新たな時代のまちなか再生に必要な重点的な分野」の一つである「イノベーションの創出環境の形成」をテーマに長岡市中心市街地で開催します。

《長岡市の取組》

- 新潟県長岡市では市内4大学1高専と連携し、中心市街地にヒト・モノ・情報の集積を図り、「イノベーション×中心市街地」による新たな産業創出の具体化、多様な人の活動の輪の拡大に取り組んでいます。
- 長岡市は、地方創生2.0における地方イノベーション創生構想でも、「新結合」が期待される地域とされています。また、内閣府が推進するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略に基づいて、長岡市を含む新潟県・長野県が連携する「Regional Nexus Hub」が、第2期スタートアップ・エコシステム拠点都市に選定されています。



新規事業の立ち上げ方を学ぶ事業化プログラム「リーンローンチパッドプログラム」



イノベーションサロン@NadeC BASE



シティホールプラザ「アオーレ長岡」

ラボ長・発表者略歴



ラボ長:長谷川 大輔 氏

東京大学大学院工学系研究科
不動産イノベーション研究センター 特任講師

2019年3月筑波大学システム情報工学研究科リスク工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。2019年3月より(株)ディー・エヌ・エー、2020年7月より東京大学生産技術研究所を経て、2022年4月より東京大学不動産イノベーション研究センターに着任。都市計画、地域公共交通計画、空間情報科学に関する研究に従事。国土交通省「都市におけるイノベーション創発のあり方に関する検討会」委員。



渡邊 誠介 氏

長岡造形大学
建築・環境デザイン学科 教授

研究分野は、地方都市の都市計画・まちづくり、イノベーションデザイン。東京大学大学院を修了、工学博士。長岡造形大学地域協創センター長、大学院研究科長、学部長を歴任、2013年より現職。また、2015～19年NPO法人醸造の町榎田屋町おこしの会会長、2020～23年NaDeC運営委員長、2022～23年Matching Hub Nagaoka実行委員長、2023～24年Hakko Meeting座長を務める。

応募時フォーム入力事項・応募書類等

◆応募フォームの主な入力事項

氏名、年齢、職業、活動エリア、志望理由(300字以内)等

◆応募書類

取組事例概要(事例概要A4・2枚)、その他参考資料(任意)

◆研究報告

プログラム後にレポート(A4・4枚程度)を提出
(自身の取組に還元できそうな開催地や他の研究生の事例等プログラムの成果について)

お問い合わせ先

☎ 03-3578-7529 (平日10:00～17:00)

✉ syaken_06@jmar.co.jp

株式会社日本能率協会総合研究所

【担当】赤井/竹田/田中/前原

※電話口不在の場合、大変お手数でございますが上記メールアドレスまでお問い合わせくださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

●ご提供いただいた個人情報は、内閣府及び本事業の受託者(株)日本能率協会総合研究所)において、定められた個人情報保護に係る方針に基づき、適正な管理を行うとともに、個人情報の保護に努めます。●個人情報は、本セミナーに関するご連絡、並びに中心市街地活性化に関する情報提供のために使用させていただきます。●法令に基づく場合をのぞき、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加にあたってのご注意

●現地までの交通手段・宿泊先は各自で確保の上、研究生は後日実費(内閣府規定準拠)を支給します。支給にあたっては各種証憑(領収書・搭乗券等)をご提出ください。●参加に係る、日当・謝金はお支払いしません。●プログラムの都合上、一部行程のみの参加、途中退出等はお断りします。